

<資料 1>

平成30年2月13日
定例記者会見資料

「誰もが住み続けられるまち武蔵野」を目指して 市とUR都市機構が包括連携協定を締結しました

武蔵野市と独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、平成30年2月8日（木）に包括的な連携協定を締結しました。

この協定は、UR都市機構が市内で管理している賃貸住宅団地（武蔵野緑町パークタウン、サンヴァリエ桜堤）とその周辺地域を対象に、両者がこれまで様々な形で取り組んできた連携・協力を今後も継続・発展させ、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくりを進め、「誰もが住み続けられるまち武蔵野」を実現していくことを目的とするものです。

■連携協力事項

- （1）地域包括ケアシステム（まちぐるみの支えあいの仕組みづくり）の推進
- （2）若者世帯を含む幅広い主体の参加・連携による地域活性化
- （3）地域社会全体で子育て世代を支える仕組みの構築
- （4）多様なライフステージ・ライフスタイルに応じた住環境づくり

